W3

Google Workspace 導入の進め方と、お申し込み（ご紹介）

導入の流れ、メールの切り替え（MX）の注意、最初の設定、よくある失敗、ご紹介リンク（広告表示つき）

更新日：2026-10-03（2026年10月時点の情報）｜HUMAC 伊藤晴通

広告（紹介料）についてのお知らせ

この資料の末尾（7章）には、講師（株式会社ヒューマック 伊藤）が参加している、**Google の「Google Workspace ご紹介プログラム」**の紹介リンクが載っています。このリンクからご契約いただくと、条件を満たした場合に、**Google から講師に紹介料が支払われます**。資料の内容（料金・違いの説明）は、公式の情報にもとづいて書いています。紹介リンクを使わずに、Google に直接申し込むこともできます。

1. 導入の流れ（全体像）

1

1 準備
人数・ドメイン・いまのメールの運用先を確認する（W2の確認表）

2

2 申し込み
管理者のアカウントを作る

3

3 ドメインの所有確認
そのドメインが自分のものだと、Googleに証明する

4

4 ユーザーを作る
一人ずつ、またはCSVで一括

5

5 メールの切り替え
最後に。ここで受信先が、Googleに変わる

順番が大事。**「メールの切り替え」は、必ず、全員のアカウントを作り終えてから**行う。

2. 事前に決めておくこと

項目	決めること・確認すること
独自ドメイン	すでに持っているドメイン（例：自社名.co.jp）を使うか、新しく取るか。**ドメインを管理しているサービス（登録事業者）のログイン情報**が、だれの手元にあるか

項目	決めること・確認すること
管理者	管理コンソールを操作する人。**1人に集中させず、予備を決める**（退職・不在のときに、困らないように）
ユーザー	全員の名前と、メールアドレス（〇〇@自社ドメイン）
いまのメール	現在、どのサービスで運用しているか。過去のメールを、新しい環境に移す必要があるか
AIのルール	入れてよい情報・いけない情報（D1）。Gemini のオン・オフ（W2）

3. メールの切り替え（MXレコード）で、いちばん注意すること

メールの宛先を決める設定を「MXレコード」と呼ぶ。Google の公式の説明では、次のとおり。

- 設定する値は、`smtp.google.com`（優先度 1）。
- 設定すると、**受信メールが、Google に届くようになる**。
- **ほかのMXレコードは、すべて削除する**。古い設定や誤った設定が残ると、メールが正しく届かなくなる。
- 反映には、**最長で72時間**ほどかかることがある。
- 設定の前に、ドメインの所有権を証明している必要がある。

メールが止まる事故を、防ぐ

- **切り替える前に、いまの設定（MXレコード）を、画面の写真や文字で、記録しておく**。
- 切り替えは、**取引先からの連絡が少ない日・時間帯**に。反映の間、受信が不安定になることがある。
- ホームページのドメインと、メールのドメインが同じ場合、**DNS（ドメインの設定）の変更で、ホームページまで止まる**ことがある。変更は、設定を理解している人が、1つずつ確認しながら行う。AIに任せきりにしない（E5）。
- 切り替え後に、**自分宛てに、テストメールを送って、受信できるか**確認する。
- 古いメールサービスの解約は、**新しい環境で、数日、問題なく動いてから**。

4. 導入したあとの、最初の設定

設定	目的
2段階認証	パスワードが漏れても、乗っ取られにくくする。全員に、早い段階で
管理者の予備	管理者が不在でも、ユーザーの停止・パスワードのリセットができるように

設定	目的
共有ドライブ	仕事の資料を、個人ではなく、組織のものにする（退職者がいても、資料が残る）
Gemini の設定	オン・オフ、会話の保存期間、組織の外への共有の可否を決める（W2）
会社の資料室（RAG）	共有ドライブに規程・マニュアル・FAQ を整理し、権限を決めてから、Gemini Notebook に入れる（W2の5章）
AIの使い方のルール	信号機ルールを、全員に共有する（D1）

5. よくある失敗

ドメインの管理者が、分からない

以前の制作会社や、退職した人が登録している。申し込み前に、ログイン情報の持ち主を確認する。

全員を作る前に、メールを切り替える

作っていない人のメールが、届かなくなる。ユーザー作成が先。

古いMXレコードが残る

メールが届いたり、届かなかったりする。ほかのMXは、すべて消す（公式）。

管理者が1人きり

その人が不在だと、何もできない。予備を決める。

ルールを決めずに、AIを使い始める

「何を入れてよいか」は、組織が決める。信号機ルールを、導入と同時に。

個人のアカウントに、資料を残す

共有ドライブに移して、組織のデータにする。

6. ご契約を検討されている方へ

導入に不安がある方は、講師にご相談ください。上の確認表（W2）を埋めたうえで、**人数・ドメイン・いまのメールの運用先**をお伝えいただくと、話がスムーズです。

7. お申し込み：Google Workspace ご紹介リンク

講師の紹介リンクから、お申し込みの場合

講師は、Google の「Google Workspace ご紹介プログラム」に参加しています。**紹介リンクを経由してご契約いただいた方にも、特典があります**。特典の内容と条件（割引の率・期間・対象のプラン・新規のドメインが対象か、など）は、**お申し込みの画面で、Google の案内を、必ず確認してください**。公式の料金ページの新規割引（W2）との併用の可否も、お申し込みの画面で確認できます。

スマホで読み取ると
お申し込みのページが開きます

Google Workspace を申し込む（ご紹介リンク）
広告：紹介料が講師に支払われる場合があります

Google に直接申し込む（公式の料金ページ）
紹介リンクを使わずに申し込む場合

紹介リンクを使うかどうかは、自由です。特典の内容は、Google の都合で変わることがあります。

8. はじめての日のチェックリスト

☐	確認すること
☐	人数・ドメイン・いまのメールの運用先を、確認した
☐	ドメインの登録事業者に、ログインできる（持ち主を確認した）
☐	管理者と、予備の管理者を決めた
☐	全員分のアカウントを作った
☐	いまのMXレコードを、記録してから、切り替えた（ほかのMXは削除）
☐	テストメールで、受信を確認した
☐	2段階認証を、全員に設定した
☐	AIのルール（信号機ルール）と、Gemini の設定を決めた

関連資料

- W1 Google Workspace と Google One の違い／W2 プランと、AI・情報の守り方
- E5 SupabaseとCloudflare … ドメイン・DNSの扱い

- D1 信号機ルール

出典（2026年10月確認）

- Google Workspace 用の MX レコードの設定（Google） (https://knowledge.workspace.google.com/admin/domains/set-up-mx-records-for-google-workspace?hl=ja)：`smtp.google.com`、他のMXは削除、最長72時間
- Google Workspace 料金（Google） (https://workspace.google.com/intl/ja/pricing.html)
- Generative AI in Google Workspace Privacy Hub（Google） (https://knowledge.workspace.google.com/admin/generative-ai/generative-ai-in-google-workspace-privacy-hub)
- Google Workspace 初期設定ガイド（販売パートナー） (https://googleworkspace.tscloud.co.jp/google-workspace/initial-setup)（導入の流れ。二次情報）